



代っ子通信

令和6年5月16日
〈第7号〉
校長 平塚智康

体験を通して体全体で学ぶ ～5年生田植え～

ゴールデンウィーク明けの5月9日、中代町の山口さんの田んぼをお借りして、5年生の田植えが行われました。はじめに山口さんが、苗を植える場所の目印をつけるために、枠回しをして下さいました。つぎに、苗の植え方を教えてもらいました。そして、いよいよ、田んぼの中へ。

おそろおそろ田んぼへ足を入れ、苗を3本ずつ、ていねいに植えていきます。この日は、少し肌寒い日だったので、子どもたちからは、「冷た～！」の声。徐々に、田んぼの中を歩くのにも慣れ、苗を植えるコツをつかんでいきます。中には、枠回しでつけた目印に、「田植え、楽しい～」と言いながら手際よく苗を植えていく子どもたちもいます。しかし、中には、田んぼの泥に足を取られて、尻もちをつきそうになる子ども……。子どもたちは田植え体験を通して、体全体を使って、米作りについて学んでいました。



5年1組 ○○ ○○

ぼくは田植えをするまでは、どのくらいむずかしいのかわからなかったけど、やってみると意外とむずかしくて、農家の人は大変そうだなと思いました。苗を植えるときは、どろの中に足が入って気持ち悪かったけど、ずっとやっていたらなれてきて、最後のほうは速く苗を植えられるようになったのでよかったです。そのあと機械で植えるところを見たら、すごく速くて一つの田んぼを40分で全て植えられるのに、手で植えるるとすごく時間がかかったので、機械は本当にすごいと思いました。ぼくは、今回の田植えを通して、米作りの大変さがよく分かりました。また今度植える機会があったらやりたいです。なぜ農家の人は、農家になったのかが気になりました。機械がどうやって作られたのかが知りたくなりました。

5年1組 ○○ ○○

最初はできるかどうか不安な気持ちだったけど、やってみたら意外と植えることができました。機械で植えるところを見て、正確にスピードよく、植えていたのがすごいと思いました。機械で植えるのと、

手で植えるのを比べてみたら、正確さもスピードも全くちがっていたのですごいと思っし、機械の方が便利だなと思いました。

ぼくの町では機械でしかやってないけど、今回手で植えてどれだけ大変かというのも分かったし、体験したことで米に対しての考えが少し奥深くなったように感じました。やっぱり米作りは大変なんだなというのがよく分かりました。今日体験できてよかったです。

5年2組 ○○ ○○

私はじっさいに田植えをしてみてとても大変なことがわかりました。どうしてかという、きれいにまっすぐ植えようとしてもどうしてもななめになっちゃうし土はドロドロしていて足どりがわるいからです。でもやってみると大変だったけど、意外に楽しかったです。私たちは87人くらいでやったけど、昔の人はこれを2~4人くらいでやっていたと思うととても大変だったろうしとてもすごいな~と思います。最後に機械で植えるのをみたらとてもはやくてびっくりしました。それに機械だからきれいにまっすぐに植えられていてすごかったです。質問に答えるとき、田植えと稲かりがとてもたいへんと言っていたけど、稲かりもがんばりたいです。

5年3組 ○○ ○○

田植えでは裸足で冷たい泥の上を歩いて植えるのが大変だと思いました。今は機械でできるけど、昔はすべて手作業でやっていたいつもあんまり感謝せずにお米を食べていたけど、田植えだけでこんなに手足が疲れると思っていたいなかったので、これからはいつもよりお米を食べれるまでのことを思って、お米を残さないように感謝して食べたいと思いました。

気になったことは、機械で苗を植える仕組みはわかったけど、稲は機械でどうやって収穫するのだろう？稲の収穫の仕方をもっと調べてみたいと思います。

⊕ 「いつもあんまり感謝せずにお米を食べていたけど、田植えだけでこんなに手足が疲れると思っていたいなかったので、これからはいつもよりお米を食べれるまでのことを思って、お米を残さないように感謝して食べたいと思いました。」・・・川端さんの感想の中にそんなすてきな言葉がありました。実際に田植えの作業を体験したからこそ書ける感想ですね。

日本の米作りは約2500年の歴史があります。子どもたちは、米作りの歴史や歩みの一端を、田植えの体験を通して体全体で学ぶことができました。5年生は、4月から、社会科や総合的な学習の時間に米作りについて学習しています。田植えの後も、時々稲の生育を観察しながら、秋の稲刈りまで、米作りについてしっかり学んでほしいと思います。

このような貴重な体験ができるのも、地域の皆様のご協力があるおかげです。山口さんをはじめ地域の先生方、本当にありがとうございました。

